

平成 29 年 5 月 28 日

平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I. 総括

平成 28 年度は、本会創設以来の大きな節目の年となった。スポーツライミングが、「東京 2020 オリンピック大会」(東京五輪)の追加競技になったことのほか、「山の日」が国民の祝日として施行されたことである。とりわけ、スポーツライミングの五輪種目化への対応については、平成 27 年 11 月に「諮問委員会」を設置して、中央競技団体(NF)の在り方や組織体制、法人名称等について審議していただき、4月に答申を受け、その答申をもとに、常務理事会等で議論を重ねて、答申に基づく対応原案を策定して、その原案を臨時理事会に諮り協議した。その結果、法人名称の変更や組織再編など、答申に沿った対応を図ることが決議された。このことを受け、11月に開催された第3回理事会において組織改編に伴う組織・管理運営規程の改正を決議し、同日午後には開催された臨時総会で、法人名称の変更に伴う定款変更と、平成 29 年度から法人名を「公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会」と改称することが議決された。

なお、組織再編の中で、東京五輪に向けて「東京五輪推進室」(会長直轄)が設置された。スポーツライミングが、東京五輪の追加競技になったことで、日山協を取り巻く環境は激変し、今年度後半以降は、事務局の通常業務に支障が出るような報道対応に迫られており、事務局体制の強化が急務である。

一方、国民の祝日「山の日」(8月11日)が施行されたことを機に、「ふるさとの山を登ろう」キャンペーンを各都道府県山岳連盟(協会)が、日本山岳会各支部、日本勤労者山岳連盟の各県連盟、日本山岳ガイド協会等と連携するなど、夫々の地域の特色を生かした事業を展開した。42都道府県岳連・協会が実施した。今後、これを契機に各山岳団体と連携して安全登山普及活動や山岳自然保護活動などの事業展開につなげていきたい。

また、昨年度から広報委員会内に「デジタル情報小委員会」を設置し、HPのリニューアルに取り組み 12月15日から運用を開始した。

なお、平成 25 年度から公益法人になり、今年度初めて、去る 12月21日内閣府の立ち入り検査を受けた。2名の検査官が来局し、個々の問題を指摘されたが概ね良好との評価を受けた。

II. 事業の概況等

1. 組織・会員状況

スポーツクライミングが東京2020オリンピック大会の競技種目として正式に決定されたのを受けて、会長直轄の「東京五輪推進室」を設置した。

会員の状況は以下の通りである。(2016年4月1日現在)

- ① 正会員 60名 (加盟団体48名、学識経験者12名)
- ② 賛助会員(団体) 11団体
- ③ 賛助会員(個人) 170名 (前年比14名減)

2. 財政

全体で収入では、競技関連の協賛金等で対前年比98,926千円増加の245,497千円余、支出では対前年比94,815千円増加の241,631千円余となった。

個々の収入はスポーツクライミングの五輪種目化に伴い、JOC選手強化費が23,000千円余の増収となった。日本ユース選手権リード競技大会開催延期等により、参加者負担金は9,600千円減収となった。

個々の支出は、臨時総会等の開催などで、役員旅費が当初予算を上回った。また、競技関連の協賛金や助成金の増収に伴い、世界選手権派遣費用の全額負担等、BJC大会施設修繕等の競技関連支出が予算を上回った。一方、祝日「山の日」記念事業費として6,000千円を予算計上したが、42件の申請があり4,200千円の交付となった。

結果として当期収支差額は、3,865千円余の黒字となった。

Ⅲ.事業の報告

1 青少年育成事業

ア) 高体連登山部関連

①平成28年度の高体連登山専門部所属の選手登録は8,112名(3/21現在)の登録となった。

②第60回全国高等学校登山大会の開催 8/6(土)～10(水) 岡山県・蒜山高原
男子47校、女子46校参加。酷暑の中、熱中症者が相次いだ。

③第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会(12/24～25、加須市体育館)が開催され、39都道府県から男子28校、102名、女子22校、82名の参加があった。

イ) ジュニア普及

①「少年少女登山教室」の開催(委託実施)平成28年度は、25件の申請・交付

②「みんな集まれ!ジュニア登山教室 in 立山2016」

8/17(水)～20(土) 国立立山青少年自然の家、立山周辺 子ども9名参加

③ ジュニア普及情報交換会 国立オリンピックセンター2/11(土) 講師3名、参加23名

④ 「みんな集まれ!なすかし雪遊び隊2017」

3月27日(月)～29日(水) 国立那須甲子青少年自然の家 子ども16名参加

ウ) 祝日「山の日」制定記念事業「ふるさとの山を登ろう」

42 都道府県山岳連盟（協会）で開催

2. 登山に関する文化・学術の振興事業

ア) 新聞・ラジオ・テレビ・雑誌等への情報提供

- ・IFSC ボルダリング WC 加須大会 2016 記者会見 4/21 (木)、岸記念体育会館
- ・スポーツライミング五輪種目化決定記者会見 8/4 (木)、岸記念体育会館
- ・世界選手権前強化合宿記者会見 8/31 (水)、B-Pump 荻窪店
- ・世界選手権帰国記者会見 9/20 (火)、羽田空港
- ・IFSC ボルダリング WC 八王子記者会見 11/22 (火) 八王子市役所
- ・スポーツライミング キックオフ記者会見 1/23 (月) 岸記念体育会館
- ・ボルダリング日本代表選手強化合宿記者会見 2/14 (火) B-Pump 荻窪店
- ・国際大会結果のプレスリリース

イ) 登山に関する情報・資料の収集

ウ) 表彰・感謝状・推薦・顕彰

- ・第6回日本山岳グランプリの公募と選考：沖允人氏(愛知)に贈賞
- ・日本スポーツ賞、毎日スポーツ人賞の推薦：第66回日本スポーツ賞は檜崎智亜氏受賞
- ・平成28年度自然公園指導員自然環境局長表彰候補者：齋藤長作氏(群馬)推薦・表彰
- ・公認スポーツ指導者功労表彰候補者として亀田行宣(石川)、西原斗司男(兵庫)、雨宮節(沖縄)を推薦・表彰。
- ・新春懇談会特別表彰

岳連推薦：長谷川清(福井岳連)、稲泉眞彦(山形岳連)、小森栄治(茨城岳連)、相澤岩男(宮城岳連)、尾形一幸(福島岳連)、後藤利雄(大分岳連)

指導委員会推薦：古屋寿隆(山梨岳連)、山根幸雄(山口岳連)

日本山岳グランプリ選考委員会推薦：「はんしん自立の家」甲山登山隊

競技部推薦：檜崎智亜、藤井快、野口啓代、野中生萌、小林幸一郎、会田祥 各選手

エ) 平成28年度海外登山隊奨励金の公募と交付

- ・(2016年9月～2017年2月出発隊対象)4隊に交付決定
「2017 パタゴニア ビックウォールフリー遠征隊」
(期間)2017年1月6日～2月28日 隊員)長門敬明、佐藤裕介
「Giri Giri Boys Patagonia Expedition 2017」
(期間)2017年1月4日～2月28日 隊員)横山勝丘、増本亮
「日本ルンポ・カンリ登山隊2016」
(期間)2016年9月7日～10月10日 隊員)平出和也、中島健郎
「Kang Nachugo Expedition 2016」
(期間)2016年9月下旬～11月初旬 隊員)鳴海玄希、山本大貴
- ・(2017年3月～2017年8月出発隊対象)2隊に交付決定

「2017 K7 遠征隊」

(期間) 2017年7月上旬～8月下旬日 (隊員) 横山勝丘、増本亮、長門敬明

「2017 シスパーレ遠征隊」

(期間) 2017年7月1日～31日 (隊員) 平出和也、中島健郎

オ) 日本山岳文化学会等と連携しながら、山岳文化の普及・振興を図る

岡山にての講演会開催のバックアップ

カ) 各種登山・山岳スポーツ大会・山岳文化等の後援

3. 安全登山の啓発事業

ア) 中高年安全登山指導者講習会 (国立登山研修所他共催) の実施

① 東部地区 (新潟・角田山周辺) 9/23 (金) ～25 (日)、参加者 47 名+講師スタッフ 30 名

② 西部地区 (徳島・剣山周辺) 10/8 (土) ～10 (祝月) 1 府 12 県から 30 名+講師スタッフ 28 名

イ) 山岳レスキュー講習会

② 西部地区 (富山県・国立登山研修所) 9/9 (金) ～11 (日) 参加者 42 名

① 東部地区 (土合山の家) 平成 29 年 1/27 (金) ～29 (日) 参加者 39 名

ウ) 第 55 回全日本登山大会

11/4 (金) ～6 (日) 島根県・三瓶山・石見銀山周辺 30 都道府県から 170 名参加

エ) 研修及び研究会

① 登山倫理シンポジウム

5/22 (日) 国立オリンピック記念青少年総合センター 4 部門について 8 名が発表

② 国際委員総会兼第 55 回海外登山技術研究会

6/11 (土) ～12 (日) 京都ゼミナールハウス (京都府右京区) 参加者 62 名

③ 遭難対策研修会兼委員総会 6/25 (土) ～26 (日) 埼玉県県民活動総合センター 参加者 39 名

④ 海外登山懇談会の開催

11/17 (木) 国立オリンピック記念青少年センター 一般参加者 19 名

オ) 遭難事故防止のための研究・指導及び実態調査

カ) 平成 28 年度全国山岳遭難対策協議会の共催 (文部科学省他)

7/8 (金) 国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者 250 名

キ) 山岳保険加入者の事故調査

ク) UIAA 登山標準の調査

・ UIAA 登山委員会へ青山遭対副委員長出席 4/22～23 プラハ

・ UIAA 登山委員会へ青山遭対副委員長出席 11/4～5 ヨルダン

ケ) 遭難事故の調査研究

- ・ 遭難事故に関する調査研究（委託事業）
- ・ 遭難事故の科学的分析
- コ) 遭難事故科学的研究支援
 - ・ IMSAR 研究助成支援（継続）
- サ) 内閣府「噴火時等の手引き作成委員会」への協力

4. 登山指導者育成事業

- ア) 指導員研修会
 - ①指導常任委員研修会
 - ②氷雪技術研修会（A級主任検定員・上級指導員養成講習会、研修会）
 - 4/29（金）～30（日） 富士山 参加者 26 名
 - 2/18（金）～19（日） 大山 参加者 31 名
 - ③指導委員研修・委員総会
 - 6/11（土）～12（日） 東京海員会館 参加者 58 名
 - ⑤ 夏山リーダー検討会 5/16（月）、6/14（火）、7/21（木）、8/30（火）、9/27（火）
10/25（火）、11/29（火）、12/10（日）、1/31（火）、2/28（火）、3/30（木）
 - ⑥指導・遭対委合同研修会 8/20（土）～21（日）神奈川県山岳スポーツセンター
参加者 29 名
- イ) 指導員養成講習会
- ウ) 公認山岳スポーツ指導者の養成
 - ①コーチ・上級指導員・指導員養成講習会の実施
 - ・ 各岳連（協会）会長に委嘱し年間実施
- エ) 国立登山研修所研修会の後援（通年）

5. 競技会運営事業

- ア) 競技会・研修会の開催
 - ①IFSC ボルダリング WC 加須大会 2016
 - 4/23（土）～24（日） 埼玉県加須市・加須市民体育館 世界 25 ヶ国・122 名参加
 - ②日本ユース選手権ボルダリング競技大会
 - 5/14（土）～15（日） 鳥取県倉吉市 参加選手 230 名
 - ③第 30 回リード・ジャパンカップ（岩手国体リハーサル大会）
 - 6/11（土）～12（日） 岩手県盛岡市 参加選手 138 名
 - ④第 19 回 JOC ジュニアオリンピックカップ
 - 8/13（土）～15（月） 富山県南砺市桜が池 cc 参加選手 235 名
 - ⑤全国ルートセッター研修会
 - 8/16（火）～18（木） 富山県南砺市桜が池 cc 参加者 9 名

12/26(月)～28(水) 加須市民体育館にて行った。

新規取得者9名、公認セッターからC級への希望者が1名、の参加者

⑥第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 (青少年育成事業参照)

⑦第12回ボルダリング・ジャパンカップ予備予選大会 参加者170名

12/10(土)～11(日) 深谷クライミングヴィレッジ

⑧第12回ボルダリング・ジャパンカップ 参加者 男子132名、女子38名

平成29年1/28(土)～29(日) 代々木第2体育館

⑨日本選手権リード競技大会2017 男子76名、女子45名

平成29年3月4日(土)～5日(日) 埼玉県加須市・市民体育館

⑩競技委員会ブロック研修会の開催準備 11月～3月 全国9ブロック

・東北(11/26～27、秋田)、四国(12/3～4、徳島)、近畿(12/10～11、兵庫)
関東(1/21～22、群馬)、中国(2/4～5、広島)、北海道(2/18～19、札幌)、
北信越(2/25～26、福井)、東海(2/25～26、静岡)、九州(3/11～12、長崎)

イ) 国体山岳競技の主管

① 4/30(土)～5/1(日) 第71回岩手国体第1回基準会議、岩手県盛岡市

② 6/10(金)～12(日) 第71回岩手国体第2回基準会議、岩手県盛岡市

③ 9/4(日) 組合せ抽選会 岸記念体育会館

④ 第71回岩手国体山岳競技開催 10/6(木)～9(日) 岩手県盛岡市

⑤ 各ブロック別大会、都道府県予選大会の開催(委託実施)

⑥ 第71回岩手国体以降の開催県への指導

ウ) 競技運営

①競技委員総会の開催(4/3(日)、岸記念体育会館)

②国体山岳競技への支援協力 ルートセッター派遣、ブロック別研修会講師派遣

6. 競技力向上事業

日本選手の健闘がNHK他民放各局にて放映された。

ア) 日本代表選手選考・派遣

①代表(S、A、B)の選考

②IFSCアジア選手権大会

8/3(水)～6(土) 中国・都勻

③IFSC世界選手権大会

9/14(水)～9/18(日) フランス・パリ 小日向監督他スタッフ1名選手19名
檜崎智亜選手が男子ボルダリング部門にて金メダルの快挙、女子ボルダリングでは
野中生萌、野口啓代の両選手が2位、3位となった。

④IFSCアジアユース選手権大会

9/27(火)～10/1(土) イラン・テヘラン 小日向監督他スタッフ2名、選手10名

日本選手がボルダリング、リードで、金メダル9個、銀メダル6個、銅メダル2個の計17個のメダルを獲得。圧倒的な強さを見せた。

⑤IFSC 世界ユース選手権

11/7(月)～13(日) 中国・広州

日本選手はリードにおいて銀メダル2個、銅メダル3個、ボルダリングにおいて、金メダル1個、銀2個、銅1個の好成績であった。

⑥IFSC クライミングWC2015 (リード、ボルダリング)

3月～9月 世界各地

⑦S代表 (L:大田理姿、小林由佳、中野稔。B:野口啓代、野中生萌、藤井快) 及びA、B代表の派遣

イ) 代表選手強化合宿 (8/31～9/1、B-pump, ナショナルトレセン)

12/17(土)～18(日) ナショナルトレセン

ユース強化合宿 1/2日(月)～10日(火) フランス

日本代表合宿 2/13(月)～14(火) ナショナルトレセン、B-pump

ユース強化合宿 3/27(月)～28(火) 昭島

ウ) 競技者育成プログラムの作成とそれに係る事業の検討

エ) 東京五輪推進室の設置

7. 国際交流事業

ア) 国際交流

①ロシア山岳連盟代表団 (11名) 来日 (ロシア女性クライミング・フェスティバル)

4/11(月)～24(日) 小川山、瑞牆山、富士山

②ネパール憲法制定1周年記念レセプション

9/20(火) ネパール大使公邸、八木原会長、小野寺常務理事出席

ウ) 派遣

①ローツェ・マナスル初登頂60周年記念祝賀会

4/29～5/1 カトマンズ 八木原会長

②マカルー、カンチェンジュンガ初登頂60周年記念祝賀会

11/19 カトマンズ 八木原会長、小野寺常務理事

③ BMC 女性ピナクルクラブ派遣

6/12～19 1名

④ UIAA Joint Expedition カルリタウ及びハンテングリ登山への派遣

7/22～31、参加者6名

⑤ UIAA ユース大会への派遣

7/5～7/10、7/25～7/30 フランス、イタリア 参加者1名(高校生)

8. 医・科学支援事業

ア) 日体協公認スポーツドクター養成支援 (受講希望者の推薦及びスポーツドクター代表

者協議会への出席) スポーツドクター受講者推薦 1名

イ) UIAA MedCom

- ①UIAA MedCom Meeting へ増山医科学委員長出席 8/4、米国コロラド州 Telluride
- ②UIAA MedCom Meeting へ増山医科学委員長出席 3/27～29 ネパール カトマンズ

ウ) 日山協が支援している医科学的諸事業

- ①国際認定山岳医研修会
- ②日本登山医学会認定山岳医研修会
- ③NPO 富士山測候所を活用する会
- ④JSMM 登山者検診ネットワーク
- ⑤日本登山医学会ファーストエイド講習会

エ) 調査研究事業

- ①トレラン大会の安全基準作成のための調査研究
- ②医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査
- ③競技力向上事業に係る調査研究(「競技力向上事業」を参照)

9. アンチ・ドーピング事業

ア) ドーピング防止思想の普及・啓発・教育など

- ①ドーピング検査実施(JADAに委託) BWC(4/24)、YBJC(5/15)、LJC(6/12)
Jr.JOC(8/15)、BJC(1/29)、日本選手権(3/5)
- ②TUE(治療目的使用に関わる除外措置)申請の支援
- ③ADAMS(アンチ・ドーピング管理システム)登録選手への管理支援

10. 山岳環境保全事業

ア) 研修及び研究会

- ①自然保護委員総会
9/3～4、国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者 72名
- ②常任委員現地研修会
6/18(土)～19(日) 山梨県・三ツ峠、参加者 39名
- ③第5回関東地区自然保護交流会
10/1(土)～2(日) 千葉県・館山 参加者 44名
- ④第7回自然保護指導員研修会
11/5(土)国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者 35名

イ) 自然保護の啓発

- ①自然保護指導員制度の推進
 - ・指導員の手引きとPRカードの発行
 - ・ニュース・レター(季刊)の発行

- ②全国環境月間(6月)の実施
- ③環境庁・自然公園指導員制度への協力
 - ・自然公園指導員の推薦
 - ・自然公園ふれあい全国大会
- ④山岳自然保護関係団体と連携して自然保護委員会活動の推進
 - ・山岳環境保護団体連絡会への参加
 - ・山の野生鳥獣目撃レポート・プロジェクトの推進
 - ・各種環境保護事業の後援と派遣
- ⑤日本オリンピック委員会主催「スポーツと環境会議」への参加・協力

11. その他支援事業

ア) 熊本地震救援募金活動

8/末で 869,634 円、9/7 に熊本岳連に贈呈

12. 共益事業

(1) 広報等

ア) 『登山月報』毎月 15 日定期発行 第 565 号 (4 月号) ~ 第 576 号 (3 月号)

イ) HP の更新 (<http://www.jma-sangaku.or.jp>)

(2) 会議等

ア) 総会 5/29 (日) (岸記念体育会館)

臨時総会 11/13(日) (TKP 渋谷カンファレンスセンター)

イ) 理事会 第 1 回 5/14 (土) (岸記念体育会館)

第 2 回 5/29 (日) (総会終了後)

臨時 8/27 (土) 渋谷フォーラムエイト

第 3 回 11/13(日) TKP 渋谷カンファレンスセンター

第 4 回 3/4(土) 渋谷フォーラムエイト

ウ) 顧問懇談会開催 10/26 (土) 岸記念体育会館

エ) 全国参与会開催 11/4 (金) 島根県 (第 55 回全日大会開催時)

新春参与会 1/14(土) アルカディア市ヶ谷 (新春懇談会時)

オ) 常務理事会 定例会毎月第 2 木曜日開催 (原則) 年 12 回開催

毎月常務理事会の前に三役会議を開催

カ) 連絡部会 (常務理事・委員長会議) 4/28、8/4、9/8、11/1,1/5、2/23

キ) 全国理事長会議 2/12(日) 渋谷フォーラムエイト

ク) 山岳 4 団体懇談会 7/12 (火) (日本山岳ガイド協会が幹事団体)

八木原会長、尾形、亀山副会長、小野寺常務理事

ケ) (一財) 全国山の日協議会の推進

・理事会・評議員会・総会 5/25 (水)

・運営委員会 (4/19、5/25、11/8、1/17)

- ・第1回祝日「山の日」全国大会 8/10(水)～11日(木) 松本市、上高地
- コ) 新春懇談会
 - アルカディア市ヶ谷 1/14(土) 174人の参加者があった。
- サ) 国際会議
 - ① アジア山岳連盟(UAAA) 理事会
 - 6/7(火)～9(木) 中国・成都 八木原会長、小野寺常務理事を派遣
 - ② 国際スキー山岳連盟総会
 - 6/16～19 ポルトガル 笹生常任委員を派遣
 - ③ 国際山岳連盟(UIAA) 総会
 - 10/12(水)～10/16(日) イタリア・ブレッサノーネ 八木原会長、小野寺常務理事を派遣
 - ④ 国際スポーツクライミング連盟(IFSC)本部表敬訪問
 - 10/17(月) イタリア・トリノ 八木原会長、小野寺常務理事を派遣
 - ⑤ アジア山岳連盟(UAAA) 総会
 - 11/14(月)～22(火) カトマンズ 八木原会長、小野寺常務理事を派遣
 - ⑥ IFSC イベントオルガナイザー会議
 - 12/3(土)～4日(日) イタリア・トリノ 小日向委員長を派遣
 - ⑦ IFSC アジアカOUNシル総会
 - 2/22(水)～24(金) バンコック 小日向委員長を派遣
 - ⑧ IFSC 総会
 - 3/9(木)～13(月) カナダ・ケベック 八木原会長、小日向委員長、安井、西谷強化委員を派遣 予定
 - ⑨ 国際山岳連盟(UIAA)理事会
 - 3月16日(木)～20日(月)イギリス シェフィールド 八木原会長、小野寺常務理事を派遣
- (3) 総務等**
 - ア) 平成28年度役員・会員名簿及び賛助会員名簿の作成・配布
 - イ) 議事録の整備と管理
 - ウ) 規程集(平成28年11月15日現在)の作成・配布
- (4) 財政等**
 - ア) 財源の確保
 - イ) 外部資金の導入(グローバル・パートナー・プログラム1社、代表ユニフォーム協賛2社、2017年競技関連協賛契約の更改)
 - ウ) 常務理事会において毎月の収支の報告
 - エ) 国民スポーツ登山振興基金の管理
 - オ) 監事監査 4/26(火)～27(水)
 - カ) 中間監事監査 (10/28)
 - キ) 内閣府立入検査(12/21)

以上